

あけましておめでとうございます

今年も環境にやさしい、事業活動、一般家庭生活にご協力をお願いします。
年の初めに、年賀状を出す時と年齢を遠回しに聞く時ぐらいいか気にとめない「干支」の話をしたと思います。調べてみると難しく、日頃話題に上らないのも解かるような気がします。調べるのが「話のネタ」にはなると思います。

「干支」は本来、「十干」と「十二支」を合わせていることから、「干支」と呼ぶのだそうです。十干は五行と言われる、木(き)、火(ひ)、土(つち)、金(か)、水(みず)と陽をあらわす兄(え)と陰をあらわす弟(と)を順に組み合わせ、甲(木の兄・きのえ)、乙(木の弟・きのと)、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬(水の兄・みずのえ)、癸(水の弟・みずのと)の10種類からなり、十二支は皆さんご存じの通り、子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥の12種類からなっています。従って、10種と12種を順に組合せると干支は「甲子」から始まって「癸亥」で一周(還暦)60年ということになるのだそうです。

漢字ばかりで“チンプンカンプン”ですが今年、平成26年の干支は「甲午」「きのえうま」ということになり、「甲子」から31年目、60年周期の干支の後半に入ることになります。「甲子園球場」1924年「甲子の年」に完成しことが命名の謂れです。

直近3回の今年の干支「甲午の年」の出来事には

1834年 天保 甲午の年 「天保の改革」

1894年 明治 甲午の年 日清戦争開戦

1954年 昭和 甲午の年 民主党の結党 のちに自由党と合同、自由民主党を結成と大変革の年にあたっています。

今年がもう良い意味で変革の年となることを願うばかりです。



《100号発刊記念・原稿募集》

2月17日(金)締切

「ニュース・エコ」が平成17年12月15日に産声を上げてから、今年3月で8年4ヶ月。100号となります。

ISO14001を導入する前段階として、事業活動における環境に配慮した取組を自主的かつ積極的に実施している事業所を「エコ事業所」として認定し、自主的な取組を支援する名古屋市の「エコ事業所認定制度」の評価項目<従業員への定期的な環境教育を実施>の一環として取り組み始めたのが発行の始まりでした。

ISO14001の認証取得後は 4.4.2 力量、教育訓練及び自覚 4.4.3 コミュニケーション の補完的役目も担ってきました。3月の100号発行に際し、社員の皆様の今日までの環境問題への取り組み、エピソード、今後の目標等々を掲載したいと考えています。

2月17日(金)までにメールにて山本まで原稿をお寄せ下さい。(形式・文字数に制限はありません。)

《リサイクルとごみ問題》 産業廃棄物を減らし、有効活用!! 生産活動のごみ(産業廃棄物)と3Rについて考えてみよう

1. リデュース

- 発生抑制と製品の長期使用。
- 製造する製品について、省資源化、長寿命化を図る。
- 消費者は製品を長期間使用することに努め、不要な購入をさける。

2. リユース

- 使用済みの製品をもう一度再使用する。
- 事業者は使用済みの製品から部品を回収し、極力部品の再使用に努める。
- 消費者は詰め替え商品・リターナブル製品・中古品などを積極的利用する。

3. リサイクル

- それでも排出される産業廃棄物については、徹底的に再資源化する。
- 事業者は自らが製造する製品に分別回収の表示を行い、使用済み製品を回収し、製造工程で発生する副産物とともにリサイクルの推進に努める。
- 消費者は分別排出に協力し、環境配慮型製品の積極的購入に努める。

